



た統合支署の建設に向け、地域や関係団体などの意見を踏まえた建設地の取得を目指していきます。

さらに、老朽化した多目的支援車の更新、消防資機材の計画的な更新を行うことにより、将来にわたり、市民の生命と財産を守るため、持続可能でより効率的な消防体制の確立に努めていきます。

○都市基盤の整備

車両や歩行者の安全な通行を確保するために策定した『橋梁長寿命化修繕計画』に基づき、定期点検や補修工事を行うなど、橋梁の適切な維持管理に努めるとともに、市道の改良整備を行い、交通インフラの強化充実を図ります。

また、現在、北海道が進めている東通街路事業の早期完成について、引き続き、強く要望していきます。

道路排水対策事業については、大雨時における道路冠水の軽減を図るため、若草町における雨水排水ポンプの増設工事や新生町の排水路改良工事を進めるとともに、引き続き、幹線管渠の定期的な清掃や閉塞箇所の補修を行い、既設排水路の機能の確保に努めます。

また、昨今の予期せぬ集中豪雨への対策として、道路冠水などを防ぐため、公共下水道による雨水対策事

業と連動し、道路排水路の改良などの整備を進めていきます。

○キウシト湿原

キウシト湿原については、平成27年4月に供用を開始して以来、自然体験学習などの場として、市内外から5千人を超える多くの方にお越しいただいています。



▲各種自然体験学習やガイドによる案内などが行われている『キウシト湿原』

平成28年度は、専門家や市民団体と協力し、キウシト湿原の自然環境の保全と再生を図るための方法を検討するとともに、引き続き、自然観察会や子どもを対象とした自然体験イベントの充実を図り、市民が楽しみながら、自然保護の大切さを学べる場として活用していきます。

○空き家対策

『空家等対策の推進に関する特別措置法』の全面施行を受け、市内の空き家などの状況を把握するため、その所在地、建物の危険度、建物外観の撮影などの実態調査を行い、データベース化を進めています。

今後は、市民の生活環境の保全や安全安心に暮らすことができるまちづくりの推進を目的とした『空家等対策計画』の策定に着手し、市内の空き家などの発生抑制や適正管理、利活用の推進を図ります。

各産業が元気に 展開されるまちづくり

道内周遊ルートの構築やPRによる誘客の推進、起業家への支援、登別産一次産品の普及促進など、市内経済の活性化を図る

○観光客への情報発信

当市は国際観光レクリエーション都市として、毎年多くの観光客にお越しいただいております。平成26年度には、年間350万人を超え、外国人約37万人を含む120万人の方に宿泊していただきました。

近年、国内観光客の減少やインバウンドの増加など、当市への観光客の傾向に変化が見られ、旅行形態も団体旅行から個人旅行に変わりつつある中、観光目的や観光地に求めるニーズも多様化しています。

さまざまな観光客のニーズに的確に対応するためには、観光名所や宿泊施設、テーマパークといったこれまでの観光情報に加え、一次産品や加工食品、ご当地グルメなどの食の魅力、自然体験など、まちの新たな魅力の発信が必要ですので、登別温泉街における観光案内にとどまらず、胆振全体の情報を発信することができる拠点の設置や在り方について調査・研究を進めていきます。

また、これまで以上に多くの観光客にお越しいただけるよう、引き続き北海道登別洞爺広域観光協議会などの広域連携のもと、国内外に向けた情報発信を進めるとともに、北海道新幹線開業により北海道観光の新たな窓口となる函館エリアと新千歳空港を含む札幌エリアとの連携を深め、北海道観光のゴールデンルートとして国内外に広くPRし、認知度を高める取り組みに着手していきます。

○市内経済の活性化

商店街活性化支援事業補助金によ